

# 平成28年度野生鳥獣による農作物被害調査結果の概要

## 1 調査方法

本調査は、「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号）」に基づき、国の調査依頼を受けて実施。

各市町村が、被害を受けた作物の被害額や鳥獣の種類等について、農業共済組合への照会や被害農家からの報告、JA等の関係団体への聞き取り等により調査した結果を、県が取りまとめて国に報告するもの。

## 2 調査結果の概要

○平成28年度における鳥獣による農作物被害額は、前年度より**6千6百万円（12%）減少し、5億00百万円**となった。

○鳥獣別に見ると、イノシシによる被害が最も大きく55%（2億7千万円）、次いで、シカ21%（1億1千万円）となっている。

○増減額を主な鳥獣類別に見ると、被害が増加した鳥獣としては、シカが5千8百万円増（118%）で唯一増加している。減少では、イノシシの減少額が最も大きく、前年度より8千5百万円（▲24%）減少、その他ヒヨドリでも被害額が減少している。

○地域別に見ると、被害が増加しているのは5地域で、このうち八代地域では被害額が1千万円以上増加している。（主にシカ被害増加）

○市町村別に見ると、被害額は28市町村で減少し、16市町村で増加している。

### 平成28年度農作物被害額

項目	被害額	前年度からの増減額
全 体	4億9955万円	約6千6百万円減少(▲12%)
うち イノシシ	2億7241万円	約8千5百万円減少(▲24%)
うち シカ	1億0649万円	約5千8百万円増加(118%)
うち カラス	6747万円	約1.9百万円減少(▲3%)
うち サル	1675万円	約0.5百万円減少(▲3%)
うち ヒヨドリ	1093万円	約1千9百万円減少(▲63%)

### 被害額の増減の主な理由

地域ぐるみで「えづけSTOP!」に取り組む、効果的な侵入防止柵の設置等を実施した地域などにおいて対策の効果で被害の低減が図られ、イノシシによる被害は減少。

また、被害がその年によって大きく変動するヒヨドリについては、飛来数が少なかったため、前年より被害が減少。

一方、これまであまり被害がなく、十分な対策が取られていなかった八代地域のシヨウガへのシカによる被害が発生したことで、シカによる被害額が増加。

